



かがやく麻生中



令和8年9月25日発行
(第103号)
行方市立麻生中学校
住所:行方市南327-3

自分の思いや考えをよりよく表現し課題解決できる(語り場 学び場 麻生中)

～人権フォーラム～

9月25日(金)全生徒を対象に人権フォーラムを実施しました。本事業の目的は、「多様な意見を認め合い、互いを尊重する共感的な態度を養う。」「よりよい学級・学校づくりへの当事者意識を高め、明日からの具体的な行動につなげる。」ことです。全体テーマは「みんなが安全・安心に過ごすことができる学級・学校をつくるためにできること」です。サブテーマとして「多様性・個性の尊重」、「いじめのない学級・学校」、「居心地のよい学級・学校」としました。進行は生徒会役員2名が行い、パネリストは学年代表生徒(各学級1名)計6名が行いました。まず始めに、各学級で決定した学級標語を紹介し合い、各学級の標語の中の重要なキーワードを出し合いました。次に、パネリストが「今の麻生中学校に必要なキーワードは何だと思いますか?」と各学級の生徒に問いかけました。各学級の生徒は「麻生ボックス」の手法を活用しながら、各学級において、必要だと思われるキーワードの選択と、キーワードを組み合わせた「学校標語の(案)」を決定しました。各学級の生徒は学校標語(案)を作成する上で、以下の視点について留意しながら決定しました。その後、全校アンケートを実施し、麻生中学校標語を決定しました。

- ① 学校や学級で安心できる時 不安を感じるとき
- ② 安全安心な学校・学級にするために明日からできる具体的な行動
- ③ 自分の学級で一番大切にしたい「思い キーワード」

最後に、スクールカウンセラーより講評をいただきました。

生徒は、全体テーマ「みんなが安全・安心に過ごすことができる学級・学校をつくるためにできること」について、真剣に対話することができました。そして、本校の学校標語が決定しました。麻生中学校全生徒・全職員で大切に守り、実行して、まいります

【学校標語】

個性を認め合い、相互理解を深めることで魅力を引き出せる麻生中



～「麻生ボックス」への感想～

「麻生ボックス」への取組について、県主催の研修会においてオンラインを通じて県内の全中学校へ配信しました。「麻生ボックス」での取組について、県内中学校、高校より、252件の感想や意見が寄せられました。生徒のこれまでの取組が評価され、県内に、その素晴らしさが伝わったことは、とてもうれしく思いました。

感想や意見の一部紹介いたします。今後も全教科の授業における対話的な学びによる課題解決、聴き合う関係性の醸成による望ましい人間関係の形成へつながるよう、計画的・継続的に実施してまいります。

生徒一人一人が安心して学校生活を送ることができるよう、日頃からの関係づくりを大切にされていることが伝わる実践でした。よりよい人間関係や集団づくりは、特別な活動だけでなく、日々の声かけや関わりの積み重ねが重要であると改めて感じました。今回の学びを本校での実践につなげていきたいと思ひます。

本校は「主体的に学び自分の考えを表現できる生徒の育成」を目指しています。これを達成するためには、安心・安全な風土の醸成が必要不可欠であり、日々、職員が意識して教育活動をしています。麻生中学校の発表を聞き、新たな気づきやアイデアをいただくことができました。本校でも聞き合う関係性の構築、特にフォローアップについて考えてみたいと思ひます。

話し合い活動を学校全体で取り組みたいと思っていたので、とても参考になった。学校の実態に応じた話し合い活動が行われていることが分かった。話し合いというよりも、聴き合うか関係性づくりに焦点化しているところが素晴らしいと感じた。

ボックスとは、単なるスターボックスをもじったものなのか、深い意味をもつのか気になりました。調べたところ、「金」を意味する造語と出てきましたがそれとはまた別なのでしょうか(独り言です)。似たような試みをぜひ本校でもしたいと考えました。とても分かりやすい発表であったため、質問も活性化したように思ひます。

短時間でも継続することで、生徒同士の関係づくりにつながる取組だと感じました。特に印象的なのは、毎週金曜日の朝に10分間という無理のない時間設定で、「聴く・つなぐ・もどす」という対話の型を繰り返している点です。また、「否定されない」「わからないと言える」という安心感を土台にすることで、単に話す練習をするだけでなく、相手の考えを受け止め、自分の考えを深める関係性が育っているところがよいと思ひます。さらに、その力が授業や生徒会活動にも広がっている点から、特別活動だけで終わらない取組になっていると感じました。

繰り返す行うことは、短い時間でも大きな成果を生むことが成果からよくわかりました。どの学校でも実践しやすいものなので本校でも取り入れていきたいと感じました。発表ありがとうございました。

聴きあう取り組みがとても素晴らしいと感じました、そのうえで提示して下さった動画の子どもたちがとても生き生きとした表情なのが印象的でした。本校でも、麻生中さんのようないきいきした子どもたちを育てられるように頑張りたいと思ひます。